

# 第一〇二回 全国高等学校サッカー選手権大会

## 出 場 お 礼

謹 啓

春寒の候、皆々様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より本校サッカー部に對しましては、温かいご声援、ご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、この度の三年連続十三回目の全国高校サッカー選手権大会の出場に際しまして、多くの皆様よりたくさんのお励の言葉をいただき誠にありがとうございました。さらには、大会出場と強化合宿等のための醸金へのご協力を願いいたしました。大勢の皆様から支援金のご協力を頂戴いたしました。関係者一同衷心より御礼申し上げます。

本校サッカー部は、今年度、創部百周年を迎えておりました。この年にインターハイが地元北海道開催となつたことにチームは大きな目標を持って臨んだが、北海道予選の初戦で敗退し悔しさを味わいました。しかし、それをバネにチームは組織力を一層強化し、個々の選手がシユートの決定力に磨きをかけてきました。その結果、年間を通じて挑戦を続けておりました「高円宮杯U-18プリンスリーグ北海道」において、無敗での初優勝という栄冠を手にすることができました。そして、二年連続の出場を果たしておりました選手権大会に向けても、監督・選手らが一丸となって、部として初となる三連覇をかけて臨み、高い守備力とアグレッシブなプレーで全国大会出場の切符を手にすることができます。創部百周年という節目に、選手自らの力で華を添えてくれたものと思つております。

年間を通じ二冠を手にした選手らは、先輩たちが果たせなかつた全国大会での初戦を何としても突破するためには何度も自主的なミーティングを重ね、十二月二十二日に札幌を出発。静岡県御殿場市で強化合宿を行つて大会に臨みました。

今大会の初戦は、香川県代表の大手前高松高校との対戦となりました。前半、持ち前の守備力が、一瞬乱れただころに先制を許す展開となりましたが、後半には修正をしてFW野村がペナルティエリア内で仕掛けて相手のファールを誘い、PKで1-1の同点に追いつきました。以降も野村と田中の2トップが何度も攻撃の起点となりゴールに迫りましたが、そのままPK戦に突入しました。昨年度の初戦、長崎県代表の国見高校との戦いでPK戦となり、悔しい涙を呑んだ経験がありました。今大会においては粘り強く戦いPK戦まで持ち込むことができたことは、むしろ選手らにとつてその経験を生かすものになりました。先攻の北海が6人目まで全員が成功する一方、相手の6人目をGK小野寺が見事に阻止し、チームは、二〇〇四年度大会以来、十九大会ぶりの白星を挙げることができました。

続く2回戦は、愛知県代表の名古屋高校との対戦となりました。互いにゴール前での集中力を切らさない引き締まつた攻防が続きましたが、前半終了間際に先制を許すことになりました。後半は北海が攻勢を強めましたが、相手GKの好セーブもあり、0-1-3での敗退となりました。それでも選手は臆する事なくひたむきにプレーをしてくれたと思います。また、スタンンドからも部員たちが最後まであきらめない応援をしてくれたことは、観る者に感動を与えてくれるものであつたと思つております。

この全国大会の貴重な経験は、次の部員が必ずや引き継いで一層精進してくれるものと確信しております。皆様にはこれまで賜りましたご支援とご声援に心からお礼申し上げますと共に、今後も旧に倍するご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。

本来であれば直接お伺いしてお礼申し上げるべきところ、甚だ失礼とは存じますが書面にて感謝の意にかえさせていただきます。

末筆ながら皆様のご健勝を心よりお祈りいたします。

謹 白

令和六年二月吉日

## 北海高等学校サッカー部を正月大会へ送る会

北海高等学校サッカー部を正月大会へ送る会会長 出 倉 恵 隆

北 海 高 等 学 校 校 長 秋 山 秀 司

北 海 校 校 友 会 会 長 金 井 重 雄

北 海 高 等 学 校 P T A 会 長 小 鍛 治 宽

北 海 高 等 学 校 サッカーボーク会会長 和 田 誉 光

北 海 高 等 学 校 サッカーボーク会会長 栗 塚 弘 宽

北 海 高 等 学 校 サッカーボーク会会長 佐 々 木 之

同 監 督 島 谷 誠 制 勝 大